

平成 29 年度 事業報告

平成 29 年度は、これまでの取組の成果を生かし、今後予定されている宮古・室蘭間のフェリー定期航路開設や三陸鉄道の一貫経営、ラグビーワールドカップ 2019™の釜石開催なども見据え、岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」の充実など、国内外に向けた情報発信の強化にも積極的に取り組んだところであり、平成 29 年の本県の観光入込客数は、暫定推計値ではあるものの前年を若干上回る状況となっている。

中でも、外国人観光客については、花巻空港における国際チャーター便が過去最大の運航本数となったほか、県、関係機関等のプロモーション活動の展開により、台湾からの入込を中心に、他の市場もあわせ、外国人延べ宿泊者数は過去最高となっているところであるが、全国との比較では東北全体が引き続き厳しい状況にあるため、海外に向けた誘客活動の更なる強化が課題となっている。

こうした状況の中、当協会では、県や関係機関と連携して大都市圏での観光PRを実施しているところであり、新たに仙台市を加えての誘致説明会の開催、沿岸地域を視察対象とする旅行会社の招請事業や魅力ある観光地づくり支援事業などを実施し、地域の特色を生かした取組を支援してきたほか、平成 28 年台風 10 号で被災した観光施設等の復興を図るため、風評被害払拭に向けた活動などにも支援を行った。

また、教育旅行の誘致拡大を図るため、北海道（函館市・札幌市）、東京都及び大阪府において誘致説明会を開催するとともに、訪問活動を行った。

更に、国際観光の分野においては、台湾に加え、韓国、タイなどアジア地域を中心とした各種の情報発信やPRを実施したほか、新たに外国人留学生によるモニターツアーやインバウンド受入のための海外情報セミナーの実施により外国人観光客の受入態勢整備を促進するなど、海外からの誘客拡大に取り組んだ。

その他の事業においても、県・市町村及び各観光協会や観光関係団体と連携し、本県の魅力ある観光資源の宣伝と観光客の拡大に取り組んだ。

I 【 情報発信 】

1 観光情報高度化推進事業

(1) 観光情報高度化推進事業

岩手県観光ポータルサイト「いわての旅」について、スマートフォン等利用者への強化を図るため、レスポンシブWebデザインに対応したホームページへのリニューアルを行ったほか、同サイトの管理運営を行い、各種祭りやイベント、桜等の季節の情報はじめ、「いわての技」の特集ページを掲載する等、情報発信に努めた。

また、トップページにバナー広告を募集し掲載した。(4～6月10社、7月～9月7社、10月～12月6社、1月～3月3社掲載)

年 度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
アクセス件数 (対前年度比)	3,163,307 件 (23.6%増)	2,557,610 件 (19.1%減)	2,331,869 件 (8.8%減)

(2) 観光情報システム分担金事業

(公社)日本観光振興協会のHP“全国観るなび”を利用して、本県の観光情報を発信した。

2 パブリシティ有効活用事業

平成28年台風10号復興支援及び冬季の誘客促進の一環として、本県の観光情報について、東北エリア等を対象として情報発信した。

掲載年月	雑誌等広告媒体名	発行部数等	内 容
H29. 7	タウン情報誌 7 誌 (8月号) (アキュートほか)	25万部(東北6県 及び栃木県)	・「行こうぜ!いわて北三陸」PR(龍泉洞、もぐらんぴあ、北山崎さっぱ船アドベンチャーズ等北三陸の紹介)
H30. 2	ラ・クラ (2月号)	3万5千部(北東 北3県)	・いわての温泉PR(安比温泉、松川温泉、花巻温泉等岩手の温泉の紹介)

その他、FMラヂオ・もりおかの情報発信番組「ひるもり」(平成28年5月9日スタート 月曜日～木曜日 11:35～13:00)に月1回出演し、県内の観光情報をPRした。

3 観光宣伝媒体作成事業

全県的かつ基礎的な観光資料である岩手県観光案内図を全面リニューアルし、「いわて旅マップ」を作成した。

- ・ いわて旅マップ(作成部数 250,000部)

4 観光キャラクター活用事業

岩手県のPRキャラクター“わんこきょうだい”のグッズを各種観光キャンペーン等において配布するとともに、県内外に販売し、岩手県の観光イメージのPRに取り組んだ。

- ・ 販売個数 わんこきょうだい携帯ストラップ 658個
わんこきょうだい缶バッチ 1,116個
そばっちぬいぐるみ 289個
そばっちぬいぐるみストラップ 1,700個

Ⅱ 【国内誘客対策】

1 観光客誘致促進事業

(1) 観光客誘致説明会

大都市圏の旅行会社の旅行商品造成・仕入担当者等に対して、岩手県の魅力ある観光資源を紹介・宣伝するとともに、県内の観光・宿泊施設、行政及び観光関係団体等との商談を通じて、旅行商品化を促進し、本県への観光客誘致拡大を図るため、いわて観光キャンペーン推進協議会との共催で、岩手県観光客誘致説明会を開催した。

今年度は、引き続き、東京都、名古屋市及び大阪市で開催したほか、平成 30 年 6 月 22 日の宮古・室蘭間フェリー就航なども見据え、三陸沿岸道路等の整備効果による誘客拡大も期待される仙台市において開催した。

会 場	実 施 日	参加状況
東京会場 中野サンプラザ	H29. 9. 20	旅行会社 (15 社 36 名)、岩手県側 (56 名) 専務理事参加
名古屋会場 名鉄ニューグランドホテル	H29. 11. 7	旅行会社 (14 社 37 名)、岩手県側 (41 名) 専務理事参加
大阪会場 ホテル大阪ベイタワー	H29. 11. 8	旅行会社 (13 社 26 名)、岩手県側 (44 名) 専務理事参加
仙台会場 仙台国際ホテル	H30. 1. 31	旅行会社 (13 社 22 名)、岩手県側 (47 名) 専務理事参加



全体説明会（東京会場）



個別商談会（仙台会場）

(2) エージェント招待事業

沿岸地域の観光客誘致拡大を図るため、旅行エージェント職員を招待して、沿岸地域の景勝地、東日本大震災津波及び平成 28 年台風 10 号からの復興状況等を視察、確認するとともに観光事業者等との商談会・意見交換会を行った。

実施日	招待者	主な視察先等
H30. 2. 26 ～ 2. 28	4名 (クラブツーリズム ㈱ 2名、㈱阪急交通社 及び㈱びゅうトラベ ルサービス各1名)	陸前高田市 (キャピタルホテル 1000、奇跡の一本松)、 大船渡市 (碁石海岸、穴通磯、さいとう製菓工場、お さかなセンター)、釜石市 (鉄の歴史館)、大槌町 (三 陸花ホテルはまぎく)、宮古市 (魚菜市场、浄土ヶ浜パ ークホテル、浄土ヶ浜、浄土ヶ浜レストハウス、休暇 村陸中宮古、田老地区「学ぶ防災」、グリーンピア三陸 みやこ)、岩泉町 (龍泉洞)、田野畑村 (北山崎、机浜 番屋群、ホテル羅賀荘)、久慈市 (三陸鉄道こたつ列車 及び車両基地、やませ土風館、琥珀博物館)



現地視察 (浄土ヶ浜)



商談会 (ホテル羅賀荘)

2 教育旅行誘致促進事業

教育旅行の誘致拡大を図るため、主要なターゲットである北海道函館市、札幌市及び東京都並びに大阪府において誘致説明会を開催したほか、学校、旅行会社等への訪問活動を通じ、本県の教育旅行の受入態勢について紹介宣伝を行った。

ア 岩手県修学旅行誘致説明会

開催地	実施日	参加状況
函館会場 (フォーポイントバイシェラトン函館)	H29. 7. 3	函館市周辺の中学校の担当教諭 (1校1名) 及び旅行会社等の教育旅行担当者 (5社11名)、岩手県側 (71名)。※安藤部会長及び専務理事参加
札幌会場 (ホテルポールスター札幌)	H29. 7. 4	来賓 (1団体1名)、札幌市及び周辺の中学校の担当教諭 (9校11名) 及び旅行会社等の教育旅行担当者 (7社33名)、岩手県側 (66名)。 ※安藤部会長及び専務理事参加
東京会場 (ホテルメトロポリタンエドモント)	H29. 8. 24	来賓 (2団体3名)、首都圏の中・高等学校の担当教諭 (4校4名) 及び旅行会社等の教育旅行担当者 (6社23名)、岩手県側 (58名)。 ※安藤部会長及び専務理事参加

大阪会場（ホテル大阪 ベイタワー）	H29. 11. 21	来賓（2団体4名）、近畿圏の中・高等学校の担当教諭（5校8名）及び旅行会社等の教育旅行担当者（7社24名）、岩手県側（43名）。 ※安藤部会長及び専務理事参加
----------------------	-------------	--



安藤部会長あいさつ（函館会場）



個別相談会（東京会場）

イ 訪問活動

① 北海道

実施日	訪問先	訪問者
H29. 6. 6	函館市教育委員会、函館市中学校長会、函館地区岩手県人会、函館市内の旅行会社（5社）	3名（県観光課特命課長、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、同事務局）
H29. 6. 7 ～6. 8	北海道中学校長会、北海道教育庁、札幌市教育委員会、札幌岩手県人会、札幌市内の旅行会社（5社）	4名（県観光課総括課長及び特命課長、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、同事務局）

② 首都圏

実施日	訪問先	訪問者
H29. 7. 26 ～7. 28	東京都内の中学校（3校）及び旅行会社（5社）	7名（県観光課、県東京事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、同事務局、同首都圏支部3名）

③ 大阪府

実施日	訪問先	訪問者
H29. 10. 17 ～10. 18	日本修学旅行協会大阪事務所、大阪府高等学校校外学習研究会、大阪市内の旅行会社（6社）	4名（県観光課、県大阪事務所、教育旅行誘致宣伝部会幹事長、同事務局）

Ⅲ【受入態勢整備】

1 いわたの観光サポート事業

(1)「いわて観光おもてなしセンター」管理運営

協会内に「いわて観光おもてなしセンター」を設置して、手紙、電話及びメール等により寄せられる本県の観光に係る意見、要望、苦情に対応した。

ア 苦情等対応状況

区分	件数	主 な 内 容
意見	2件	① タイチャーター増便について ② 観光施設のパンフレット作成等について
要望	1件	① JR東北PASSの購入・引換について
苦情	7件	① 物産品販売終了に伴うHPの掲載について ② オートバイク駐輪案内のホテル職員の対応について ③ ルームキー紛失に伴うホテル職員の対応について ④ HPのイベント情報の掲載について ⑤ 水産物の協同組合に注文した商品について ⑥ ホテル客室内の環境整備について ⑦ HPの日帰入浴施設情報の掲載について
計	10件	

イ 観光情報等問合せ状況

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
観光相談	1,878件	1,576件	1,500件
資料送付	1,074件	813件	895件
合 計	2,952件	2,389件	2,395件

(2)「V」案内所運営等観光情報提供事業

日本政府観光局（JNTO）の指定（H16.3.26）を受けて当協会事務局内に設置している「V」案内所において、外国人旅行者に対して観光情報を提供するとともに、国内旅行者に対しても観光情報を提供するため嘱託職員1名を配置している。

区 分	平成 29 年度
問合せ別件数	窓口：2件 電話：0件 FAX：0件 電子メール：11件
内容別件数 (重複あり)	イベント・個人旅行・観光一般：3件 印刷物：5件 交通：3件 宿泊：1件 食事：0件 娯楽：0件 生活、その他一般：3件

2 いわて・盛岡広域観光センター運営

本県の観光情報の提供を行い、本県を訪れる観光客の利便性の向上を図るため、JR盛岡駅2階南口にあるいわて・盛岡広域観光センターの運営経費の一部を助成した。

区 分	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
来 訪 件 数	19,108 件	25,929 件	28,212 件
電 話 ・ 書 面	538 件	595 件	606 件
宿 泊 案 内	1,001 件	957 件	1,187 件

3 観光土産品改善事業

平成 27 年度に推奨した観光土産品に、推奨シールの販売を行った。また、ホームページ「岩手県観光ポータルサイト“いわての旅”」に推奨観光土産品を紹介した。

- ・ 販売推奨シール枚数 50,600 枚

4 ボランティアガイド育成事業

県内各地で活動する観光ボランティアガイドのガイド技術の向上とガイド団体相互のネットワーク化を目的に設立した「岩手県観光ボランティアガイド連絡協議会」（事務局：（一社）宮古観光文化交流協会、加入団体 36（ガイド団体 24、支援団体 12））に支援を行った。

5 観光業務優良従事者表彰

観光業務に従事する職員の意欲の高揚と資質の向上を図るため、「いわて観光の日」事業として、優良従事者表彰を行った。なお、今回から岩手県主催の平成 29 年度岩手県商工観光業表彰（知事表彰）を併せて行った。※知事、理事長及び専務理事参加

- ・ 期 日 平成 29 年 5 月 16 日（火）
- ・ 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡本館
- ・ 被表彰者 17 名（下記のとおり）

≪ 宿泊・観光施設関係 ≫ 5 名

推薦団体名	所属団体名	氏 名
（一社）花巻観光協会	花巻温泉株式会社	阿 部 英 子
（一社）一関観光協会	株式会社磐井観光 矢びつ温泉瑞泉閣	梅 津 卓 哉
	株式会社石橋ホテル 厳美溪温泉いつくし園	田 川 秀 子
矢巾町観光協会	矢巾観光開発株式会社 矢巾町国民保養センター	村 松 保 子
田野畑村	株式会社陸中たのはた ホテル羅賀荘	佐々木 長 年

《交通機関関係》10名

推薦団体名	所属団体名	氏名
(一社) 奥州市観光物産協会	株式会社北都交通	渡辺 和村
(一社) 一関観光協会	株式会社一関平泉タクシー	金野 信
		小岩 進
		福島 伸男
		長田 典義
(公社) 岩手県バス協会	花巻観光バス株式会社	村上 美津雄
		佐藤 喜美男
		細川 善幸
		菊池 勇雄
		大原 マユミ

《その他（観光協会、観光関連施設関係）》2名

推薦団体名	所属団体名	氏名
(公財) 盛岡観光コンベンション協会	つなぎ温泉観光協会	佐々木 史恵
(一社) 一関観光協会	有限会社巖美溪レストハウス	佐々木 美智子



6 「おもてなしの心」向上研修事業

観光客を迎える接遇の向上を目指す「おもてなしの心向上研修会」を実施した。また、賛助会員が主催する接遇研修会に講師として「いわて観光おもてなしマイスター」を派遣する「接遇研修会講師派遣事業」を行った。更には、平成25年度から平成27年度実施した「トヨタ生産方式によるコンサルティング事業」で現地指導を受けた団体を対象に、改善活動勉強会を行った。

ア おもてなしの心向上研修会

- ・ 実施日 平成29年12月5日（火）
- ・ 会場 盛岡地域交流センター（マリオス）
- ・ 参加者 賛助会員・いわて観光おもてなしマイスター 40名
- ・ 講師 (株)ザ・アール 専属講師 武川加留子
- ・ 内容 おもてなしの心を伝える接客マナーのポイント再確認、職場で普及させるための指導法

イ 接遇研修会講師派遣事業 合計 8 回

実施日	実施団体	会 場	参加者
H29. 11. 6	宮古観光文化交流協会	宮古ホテル沢田屋	宮古地区観光関係者 33 人
H29. 11. 17	岩泉町観光協会	岩泉町民会館	岩泉地区観光関係者 18 人
H30. 1. 10	しずくいし観光協会	雫石町観光物産センター	雫石地区観光関係者 26 人
H30. 2. 6	岩手県空港ターミナルビル	岩手県空港ターミナルビル	ビル内テナントのスタッフ 24 人
H30. 2. 8	軽米町観光協会	軽米町農村環境改善センター	軽米地区観光関係者 19 人
H30. 2. 26	岩手県ゴルフ連盟	盛岡グランドホテルアネックス	岩手県ゴルフ連盟加盟ゴルフ場職員 24 人
H30. 2. 27	国民宿舎サンホテル衣川荘	国民宿舎サンホテル衣川荘	衣川荘職員 13 人
H30. 2. 28	一関市	一関図書館	一関地区観光関係者 28 人

ウ 改善活動勉強会

実施日	会 場	主な内容	参加者
H29. 11. 14	愛隣館	朝食会場の改善、備品設置方法の改善、下膳ビデオマニュアル作成、タブレット等の機械化、トヨタ式生産方式の基礎等	13 人
H30. 1. 23	八幡平ハイツ	整理整頓の改善、作業改善の取組方法、多能工化の取組方法等	11 人

7 「観光の日」事業

旧岩手県観光連盟が、西暦 2000 年を機に、5 月 16 日を県民一人ひとりが観光の持つ重要性を認識し、観光による地域づくりを考え、自ら取り組む契機となる「いわて観光の日」と定めているが、この日を記念して講演会を開催し普及、啓発を図った。理事長及び専務理事参加

- ・ 実施日 平成 29 年 5 月 16 日（火）
- ・ 会 場 ホテルメトロポリタン盛岡本館
- ・ 出席者 85 名
- ・ 講 演 演題 インバウンドの受入向上のヒント
講師 日本政府観光局（J N T O）理事 山崎 道徳氏

IV 【国際観光推進】

1 外国人観光客誘致宣伝事業

(1) 外国人観光客誘致宣伝事業

本県の外国人旅行者誘致の主要なターゲットである台湾において、県が単独でブース出展した東北六県感謝祭「日本東北遊楽日 2017」及び「東北プロモーション in 台湾 2017」に参加し、本県の観光宣伝を行った。

また、台湾といわて花巻空港間のチャーター便の増便や定期便化の要請、台湾と本県の観光交流の拡大を図るため、県が主催する観光ミッション団に参加した。

- ・ H29. 5. 31～6. 2 知事を団長とする関係団体訪問及び観光 PR 参加

主催	会期・会場	来場者数等	参加概要（岩手県）
日本政府観光局 日本東北六県感謝祭実行委員会	H29. 12. 8～12. 10 (3日間) 台北 華山 1914 文化創意産業園区	124,726 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブースでの観光相談対応 (12/8) ・ 日本観光振興協会主催東北プロモーション (商談会・交流会) (12/6) 安比高原・八幡平、岩泉町・龍泉洞、ホテル森の風鶯宿、げいび観光センター、大船渡市観光物産協会、世界遺産連携推進実行委員会、えさし藤原の郷、花巻温泉、ホテル志戸平、花巻・遠野・平泉観光推進協議会、岩手県、岩手県観光協会、ホテルメトロポリタン盛岡、八幡平ロイヤルホテル他専務理事参加



知事ミッション



東北プロモーション

2 外国人観光客受入態勢整備事業

(1) 国際チャーター便歓迎行事等

いわて花巻空港を離発着する国際チャーター便（台湾、タイ、香港）の運航に応じて、「花巻空港国際チャーター便歓迎実行委員会」が、横断幕や幟旗の掲示、観光パンフレット等を贈呈するなどの出迎え、送迎デッキで見送りする等の歓迎対応を実施した。

また、タイガーエア台湾運航の初便やタイ国際航空チャーター便運航初便、キャセイドラゴン航空運航等にあわせ、航空会社乗務員等に記念品を贈呈するなどの歓迎セレモニーを行った。

合 計	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度	
	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数	入国便数	入国者数
	23 回	2,349 人	19 回	1,986 人	84 回	9,802 人
春季（4～6月）	17 回	1,497 人	15 回	1,397 人	4 回	699 人
夏季（7～9月）	- 回	- 人	- 回	- 人	8 回	1,017 人
秋季（10～12月）	6 回	852 人	4 回	589 人	33 回	3,479 人
冬季（1～3月）	- 回	- 人	- 回	- 人	39 回	4,607 人



台湾チャーター便歓迎セレモニー



香港チャーター便歓迎セレモニー

(2) 「V」案内所運営（いわて・盛岡広域観光センター）

JR盛岡駅2階南口に設置されている「V」案内所の運営経費の一部を助成した。

(3) 外国人観光客受入態勢整備事業

㈱岩手銀行と（公財）さんりく基金と連携して、外国人観光客の受入態勢を向上させ、一層の誘客につなげるため、外国人留学生を対象としたモニターツアーを実施し、観光関係者の取組のブラッシュアップを図るとともに、観光関係者との交流促進も行った。

また、本県在住のタイ人を講師に迎え、タイの習慣等を学ぶ「海外情報セミナータイ編」を実施した。

更には、タイから本県を訪問した旅行会社関係者と受入態勢について意見交換等を行った。

ア 外国人留学生モニター

実施日	招請者	主な視察先
H29. 6. 3～6. 4 (1泊2日)	岩手大学・岩手県立大学の外国人留学生10名	浄土ヶ浜、宮古魚市場、宮古市内、三陸鉄道、龍泉洞、龍泉洞会館、うれいら商店街
H29. 11. 1～11. 12 (1泊2日)	岩手大学・岩手県立大学の外国人留学生8名	橋野鉄鉱山、根浜海岸、浪板海岸、三陸鉄道、大船渡市内

イ 海外情報セミナー タイ編

実施日	会場	主な内容	参加者
H29. 9. 5	いわて経済観光交流センター	タイ人海外旅行情報、訪日状況、県内在住者情報、習慣、嗜好、タイ語で挨拶、情報交換	12人

3 北東北三県・北海道ソウル事務所管理運営（県受託事業）

北東北三県及び北海道が共同で設置した韓国ソウル事務所について、所長派遣及び運営管理を実施した。また、誘致促進を図るため、観光商談会を開催し、韓国旅行会社等に観光資源を紹介宣伝した。更には、知名度向上を図るため、魅力ある観光資源の取材を行い、SNSによる情報発信を強化した。

ア 観光商談会

実施日	会場	参加者
H30. 1. 31	ソウルプラザホテル（ソウル市）	韓国側旅行関係者等 96 団体 168 名、岩手県観光関係者 6 団体 7 名（日本側観光関係者 27 団体 49 名）

イ SNS強化情報発信の現地取材

実施日	参加者	主な取材先
H29. 7. 14～7. 19 （5泊6日）	韓国カメラマン 1名、ソウル事務所職員1名	盛岡市内、SL銀河、釜石市内、根浜海岸、浪板海岸、浄土ヶ浜、宮古市内、三陸鉄道、北山崎、鵜の巣断崖、北山崎クルーズ、小袖海岸、久慈市内
H29. 7. 21～7. 23 （2泊3日）	韓国カメラマン 1名、ソウル事務所職員1名	一関市内、一関温泉郷、巖手川、狹鼻溪、中尊寺、毛越寺

4 韓国旅行エージェント等招請事業（県受託事業）

ゴルフと観光を組み合わせた旅行商品を開発するため、韓国の旅行会社等を招請し、県内のゴルフ場及び観光地を視察した。

実施日	招請者	主な視察先
H29. 5. 26～5. 28 （2泊3日）	旅行会社等8社 8名、ソウル事務所1名	栗駒クラブ倶楽部、瀬美温泉、雫石カントリークラブ、雫石プリンスホテル、えさし藤原の郷、盛岡手作り村、小岩井農場、鶯宿温泉、つなぎ温泉

V 【 連携・支援 】

1 各種キャンペーン支援事業

(1) いわて観光キャンペーン推進費

いわて観光キャンペーン推進協議会に対して、負担金を支出した。

(2) いわてウインターリゾート協議会事業

いわてウインターリゾート協議会に対して、負担金を支出した。

(3) 各種キャンペーン支援事業

ア 観光関係催事への参加、出展

各種観光関係催事へ参加、出展し、観光PRを行った。

《主な対応状況》

実施日	開催地	イベント名称等
H29. 4. 8～4. 9	愛知県	第4回日本各地の名産・観光地巡りフェア
H29. 4. 25～4. 26	三重県	お伊勢さん菓子博2017
H29. 9. 21～9. 24	東京都	ツーリズムEXPOジャパン2017
H29. 12. 14～12. 16	東京都	いわて産直市・上野駅
H30. 3. 16～3. 18	大阪府	大阪モーターサイクルショー2018
H30. 3. 23～3. 25	東京都	東京モーターサイクルショー2018

イ 後援、共催

「春の藤原まつり」（主催：（一社）平泉観光協会）等、51 イベント等に対する後援・共催を行った。

2 魅力ある観光地づくり支援事業

下記の4団体が実施した地域の特色を生かした取組みを支援した。

支援先	事業内容等
一関・平泉バルーンフェスティバル実行委員会	熱気球を活用した観光地域づくり事業
ご当地もちサミット実行委員会	「全国ご当地もちサミット2017in一関」開催
久慈市ガイドの会	観光のまち「久慈」市民ガイド活動基盤づくり事業
特定非営利活動法人久慈広域観光協議会	いわて北三陸わっ！美味しいものがたり～山海の幸、食めぐり～事業

3 県外事務所観光振興支援事業

東京、大阪、名古屋及び福岡の大都市圏において、本県への観光客の誘致を一層促進するため、岩手県の県外事務所が実施する誘致宣伝事業等を支援した。

県外事務所	主な実施内容
岩手県東京事務所	観光宣伝用物品等購入費、学校及び旅行会社訪問活動お土産代
岩手県大阪事務所	観光宣伝用物品等購入費等

岩手県名古屋事務所	観光宣伝用物品等購入費等
岩手県福岡事務所	旅情報誌「遊人」の岩手の旅特集記事広告掲載料

4 (公社) 日本観光振興協会への拠出金

(公社) 日本観光振興協会に全国広域観光振興事業に係る拠出金を拠出した。

5 (一社) 東北観光推進機構事業

東北七県・民間団体等で構成する「(一社) 東北観光推進機構」に負担金を拠出し、オール東北による海外プロモーションや教育旅行の誘致活動などの国内外観光客の誘客促進に向けた事業を通じ本県への観光客の誘致、宣伝を図った。

6 北東北三県観光立県推進協議会事業

北東北三県等で構成する「北東北三県観光立県推進協議会」に負担金を拠出し、北東北一体となった広域観光マップの作成や合同での台湾教育関係者招請事業などの国内外観光客の誘客促進事業を通じ本県への観光客の誘致、宣伝を図った。

7 観光宣伝事業等負担

(公社) 日本観光振興協会、岩手県空港利用促進協議会、みちのく五大雪まつり推進協議会、チャグチャグ馬コ保存会等の観光団体に対して負担金を支出した他、平成 28 年の台風 10 号の影響で甚大な被害を受けた岩泉町龍泉洞で行われた「魚彩王国 in 龍泉洞復活祭」の開催に際し、協賛金を支出した。

事業報告の附属明細書

公益財団法人岩手県観光協会の平成29年度事業報告において、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。